15 奥住匡人（自民クラブ）

人づくりのまち～日野の未来について

問　市民の森ふれあいホールについて、一過性の利用にとどまらず、国体後も継続的・広範囲に利用促進するための考えは。

答　ニーズに合わせた利用方法をコーディネートし、市民が主体となるイベントや三世代交流等の利用促進を図り、人づくりの拠点となるよう、充実した展開を検討します。

問　小島善太郎記念館における、人づくり拠点としての利用計画と構想は。

答　作品の常設展示のほか、百草の自然、歴史、文化等の地域情報の発信を検討しています。地域資源を生かしながら、身近な場所で市民が主体的に芸術や文化に触れ、楽しみ、豊かな市民生活を送れることを目指し、市民とともに成長する施設にしたいと考えます。

16 大塚智和（公明党）

学校施設の長寿命化推進について

問　市の見解を問う。

答　建て替えまで25年以上ある学校は、大規模改修工事により長寿命化を図り、教育環境の維持を計画的に推進します。

次の50年を見据えたまちづくりを問う

問　日野バイパス延伸の進ちょく状況を問う。

答　区画整理事業により用地確保する3・2キロメートル区間のうち、約60％の用地を確保しています。

安全・安心のまちづくり

問　道路整備と自転車利用環境について問う。

答　都市計画道路等の新設や道路の大規模改築の際に、交通管理者や他の道路管理者と連携を図りながら、自転車走行空間の整備に取り組みます。

17 窪田知子（公明党）

新たながん対策の推進で「健康幸齢社会・日野市」へ

問　子宮頸（けい）がん予防ワクチンの定期接種化に伴い、全額公費負担で行えないか。

答　他の定期予防接種と同様に、自己負担なしで接種出来るよう準備しています。

問　子宮頸がん予防ワクチンや検診の重要性が理解されるよう、安全性に対する市の考えを問う。

答　国の判断に従い、予防接種を行っています。今後もご理解いただけるよう、他の定期接種と同様に周知に努めます。

介護サポーター制度の推進

問　介護ボランティアの拡充の考えを問う。

答　トータル的にどのようなことが出来るか検討します。

18 田原茂（公明党）

高齢者問題を問う

問　家も身寄りもなく、介護が必要な高齢者の住居を確保するために活動するNPOを積極的に支援すべきと思うが、市の見解について問う。

答　特別養護老人ホーム入居待機者の一時的な受け入れ先として興味深い取り組みであると思いますが、現在は法的な根拠がなく、正確な位置づけのない業務形態であることから、適正な運営確保が難しいと考えています。

問　高齢者が支え合いながら同じ家に集まって暮らす高齢者版介護つきルームシェアについての市の見解について問う。

答　平成21年度まで運営していた旧栄町グループリビングの運営の経験を踏まえ、他市やNPO法人の手がける住宅事業の今後の動向に注視していきたいと考えています。

19 古池初美（民主市民ネットワーク）

子どもの食物アレルギー事故を防ぐ対策を！

問　食物アレルギー専門医の配置、教職員・保育士への研修について問う。

答　主治医・学校医・市立病院との連携、研修等の整備をしていきます。

問　周囲の子どもが助けられるような教育が必要ではないか。

答　救急時対応の働きかけは有効ですが、総合的・個別的に検討します。

地域防災計画の見直しは生活者の視点で進めよう

問　生活者の視点から意見を聞くことと、担当課に女性職員を配置することが必要ではないか。

答　計画の作成にあたる防災会議の委員に新たに女性4人が加わったほか、担当主幹として女性職員を配置しました。

20 鵜澤敏子（民主市民ネットワーク）

馬場市長、16年間の環境・まちづくり・いのち・平和への熱い思いと、今後へのメッセージを！

問　ごみ改革の発想と決断、実践について問う。

答　課題に対して強い覚悟をもって市長が先頭に立てば、市民はパワーを発揮すると痛感しました。

問　参画と公民協働の仕掛け、方向について問う。

答　参加は用意されたものに加わる形、参画は一から決める所から加わる形です。熱意のある方と一緒にまちをつくる公民協働がないとこれからは立ち行かないと思います。

問　今後へのメッセージを問う。

答　一番弱い人をどう支えるかが地方行政の基本。それを持続させるための運営をすること。歴史の中の今の位置を確認し、行動して欲しいです。

請願の審議結果

今定例会では、7件の請願が新たに提出され、それぞれ所管の常任委員会に付託しました。

各委員会では継続審査の3件と合わせ慎重な審査を行い、定例会最終日の本会議において、その審査結果を踏まえて審議を行いました。結果は次のとおりです。

■不採択9件

▼大飯原発再稼働停止について政府への意見書提出を求める請願

▼日野市立たかはた保育園在園児が卒園するまで廃園にしないことを求める請願

▼市民交流センターの使用料徴収の撤回を求める請願

▼地区センターの使用有料化に反対する請願

▼交流センターの使用有料化反対に関する請願

▼地区センターの使用有料化に反対する請願

▼交流センター、地区センターの有料化に反対する請願

▼日野市立交流センター使用料の減免制度の整備・拡充を求める請願

▼「生活保護基準の引き下げ中止を求める」意見書を国に提出することに関する請願

■継続1件

▼百草谷戸地区にある「公園予定地」に公園整備を求める請願

意見書

今定例会で可決した意見書の要旨は次のとおりです。なお、意見書の全文は市ホームページでご覧いただけます。

■ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の診断・治療の推進を求める意見書

脳脊髄液減少症とは、事故やスポーツ外傷等で受けた頭頸部や全身への衝撃により、脳脊髄液が漏れ続け、頭痛、腰痛、めまい、耳鳴り等の様々な症状が複合的に発症する疾病と言われています。医療現場ではこのような症状の原因が特定されない場合が多く、患者は「怠け病」あるいは「精神的なもの」と判断されてきました。

また、この疾病に対する治療法として「ブラッドパッチ療法」の有用性が認められつつも、保険適用外であり、診断・治療基準も定まっていないため、患者本人の肉体的・精神的苦痛はもとより、患者家族の苦労もはかり知れないものがあります。

よって、国においては、下記の事項について適切な措置を講じられるよう強く要望します。

①ブラッドパッチ療法の治療基準を定め、平成26年度に保険適用とすること②診断・治療の確立に関する研究を継続し診療ガイドラインの早期作成、子どもに特化した研究や病態の解明③実態調査の実施、患者・家族に対する相談・支援体制の確立④「先進医療」認定施設を各都道府県に最低1カ所設けること

【意見書提出先】内閣総理大臣、総務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣、衆議院議長、参議院議長

請願・陳情

皆さんの声を市政に

請願・陳情は、皆さんの声を市政に反映させる有効な手段です。次の点に留意して、議会事務局にご提出ください。

◆請願

請願提出者の希望により、委員会の中で請願の主旨説明（代理人可）が出来ます。なお、請願には紹介議員（請願の主旨を十分に理解し、市議会に提出することに賛同した市議会議員）1人以上の署名が必要です。

◆陳情

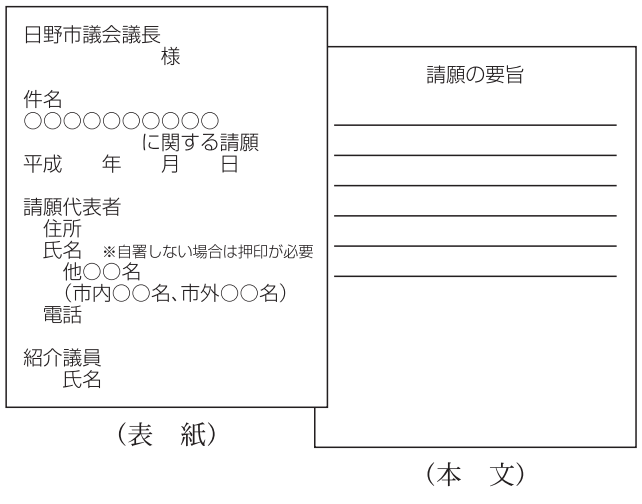
速やかに全議員へ配布します。議会閉会中でも陳情主旨を議員に伝えられますが、委員会や本会議での審査・採決は原則として行いません。

◆請願の提出方法等

請願の提出は、各定例会初日の正午までです。これを過ぎた場合は、次回の定例会の審議になります。

請願・陳情の書式は右図のとおりです。A4判横書きで、内容は簡潔に記載してください。また、郵送では受け付けません。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせを。



（表　紙）　（本　文）

固定資産評価審査委員会委員選任に同意

今定例会において、次の方を日野市固定資産評価審査委員会委員として選任することに同意しました。

籏野（はたの）　洋（ひろし）　氏　［住所］日野市平山5の21の9

辞職されました　中谷好幸議員

（日本共産党日野市議団）

4月に行われた日野市長選挙への立候補のため、中谷好幸議員が平成25年3月29日に市議会議員を辞職されました。

中谷好幸議員は、昭和61年3月の市議会議員選挙に初当選され、市民文教委員長、副議長などを歴任。市政発展に尽力されました。

お疲れ様でした　馬場弘融前市長

4月26日の任期満了を前にした3月29日、市議会最終日となる馬場弘融市長（当時）に、市議会議員から花束が贈呈されました（写真）。

馬場前市長は、平成9年4月に市長に就任。以来4期16年間にわたって市政運営を担われました。

また、市長就任前の昭和57年3月から平成2年3月まで市議会議員も2期8年間務められており、永年にわたり市政発展に尽力されました。

本会議の様子をインターネットで録画配信しています

市ホームページ　http://www.city.hino.lg.jp/

ホーム（トップページ）⇒市議会⇒市議会からのお知らせ⇒議会中継